

本文

【白文】

趙且伐燕。蘇代為燕謂惠王曰、「今者臣來過易水、蚌^①方出曝。而鷸^②啄其肉。蚌合而箝其喙。鷸曰、『今日不雨、明日不雨、^③即有死蚌。』」蚌亦謂鷸曰、「今日不雨、明日不雨、即有死鷸。」「^④兩者不肯相舍。漁者^⑤得而并擒之。今趙且伐燕。燕趙久相支、以敵大衆、^⑥臣恐強秦之為漁父也。願王之熟計之也。」惠王曰、「善。」乃止。

【書き下し文】

趙(てう)且(まさ)に燕(えん)を伐(う)たんす。蘇代(そだい)燕(えん)の為(ため)に惠王(けいおう)に謂(い)ひて曰(い)はく、「今者(いま)臣(しん)来(き)たりて易水(えきすい)を過(す)ぐるに、蚌(ぼう)①方(まさ)に出(い)でて曝(さら)す。而(しか)して鷸(いつ)②其(そ)の肉(にく)を啄(ついば)む。蚌(ぼう)合(が)つして其(そ)の喙(くちばし)を箝(はさ)む。鷸(いつ)曰(い)はく、『今日(こんにち)雨(あめ)ふらず、明日(みやうにち)雨(あめ)ふらずんば、③即(すなは)ち死蚌(しぼう)有(あ)らん』と。蚌(ぼう)も亦(また)鷸(いつ)に謂(い)ひて曰(い)はく、『今日(こんにち)出(い)でず、明日(みやうにち)出(い)でずんば、即(すなは)

ち死鷗（しいつ）有（あ）らん』と。④両者（りやうしや）相（あ）ひ舎（す）つるを肯（がへ）んぜず。漁者（ぎよしや）⑤得（え）て之（これ）を并（あは）せ擒（とら）ふ。今（いま）趙（てう）且（まさ）に燕（えん）を伐（う）たんとす。燕（えん）趙（てう）久（ひさ）しく相（あ）ひ支（ささ）へ、以（も）つて大衆（たいしゆう）を敵（つか）れしめば、⑥臣（しん）強秦（きやうしん）の漁父（ぎよほ）と為（な）らんことを恐（おそ）るるなり。願（ねが）はくは王（わう）之（これ）を熟計（じゆくけい）せよ」と。恵王（けいわう）曰（い）はく、「善（よ）し」と。乃（すなは）ち止（や）む。

※書き下しの仮名遣いは歴史的仮名遣いで示しています。教科書によっては「蚌（はまぐり・どぶがい）」「鷗（しぎ）」の表記・送り仮名や、「箝（はさ）む／拊む」「敵（つか）る／弊る」など字体の異なる版があります。お使いの教科書本文を最優先で確認してください。

設問

- 傍線部①「方出曝」を、送り仮名も含めてすべてひらがなで書き下しなさい。
- 傍線部②「啄其肉」を書き下し文に直しなさい。
- 傍線部③「即有死蚌」を書き下し文に直しなさい。
- 傍線部④「両者不肯相舎」を書き下し文に直しなさい。
- 傍線部⑤「得而并擒之」を書き下し文に直しなさい。
- 傍線部⑥「臣恐強秦之為漁父也」を書き下し文に直しなさい。
- 本文中の「不雨」「不出」に共通して用いられている、漢文の基本的な句法（働き）を、漢字二字で答えなさい。
- 「今日不雨、明日不雨、即有死蚌」について、次の問いに答えなさい。
 - ここでの「即」は、どのような意味・働きで用いられているか。最も適切なものを次から選びなさい。
 - ア すぐに（時間的な早さ）
 - イ ～であれば、その結果として（仮定の帰結）
 - ウ つまり・すなわち（言い換え）
 - エ かりに～だとしても（逆接の仮定）
 - この一文を現代語訳しなさい。
- 「不肯相舎」の「不肯」は、どのような意味を表すか。最も適切なものを次から選びなさい。
 - ア ～することができない
 - イ ～してはならない
 - ウ どうしても～しようとしなない（進んで～しない）
 - エ まだ～していない
- 次の語の、本文中での読み（ひらがな）と意味を答えなさい。
 1. 蚌

2. 鷸

11. 次の語の、本文中での意味を答えなさい。

1. 曝す
2. 擒ふ

12. 傍線部②の直後「蚌合而箝其喙」を現代語訳しなさい。

13. 「漁者得而并擒之」を現代語訳しなさい。「之」が何を指すかが分かるように訳すこと。

14. この話の中で、「漁者（漁夫）」が手に入れたものは何か。本文中の二つの生き物の名を挙げて答えなさい。

15. 蚌と鷸は、なぜ二匹とも漁夫に捕まってしまったのか。その理由を、本文の内容に即して三十字以内で説明しなさい。

16. この話を語った蘇代は、どの国のために行動しているか。本文中から読み取って答えなさい。

17. 蘇代は、この蚌と鷸のたとえ話で、当時の国際情勢の何を説明しようとしたのか。次の空欄にあてはまる国名を、本文を踏まえて答えなさい。

- 蚌と鷸=争い合う〔 A 〕と〔 B 〕
- 漁夫（第三者）=労せず利益を得る〔 C 〕

18. 蘇代がこの話によって恵王に最終的に伝えたかったこと（主張）として最も適切なものを、次から選びなさい。

- ア 燕を一気に攻め滅ぼし、領土を広げるべきだ。
- イ 燕と争い続ければ国力を消耗し、強国の秦に利益を奪われてしまう。
- ウ 漁師の仕事を増やして、国を豊かにすべきだ。
- エ 蚌や鷸のような生き物を大切に、自然を守るべきだ。

19. 本文の最後で恵王が「善」と言って「乃ち止む」とあるが、これはどういうことか。簡潔に説明しなさい。

20. 故事成語「漁夫の利」は、現在どのような意味で使われるか。簡潔に説明しなさい。

21. 「漁夫の利」とほぼ同じ意味を表す四字熟語として最も適切なものを、次から選びなさい。

- ア 四面楚歌
- イ 漁人之利（ぎょじんのり）
- ウ 呉越同舟
- エ 螢雪之功

22. この故事から学べる教訓を、現代の私たちの生活（学校生活・人間関係など）に当てはめて、あなたの考えを一文で書きなさい。

23. 出典について、次の問いに答えなさい。

1. 「漁夫の利」が収められている書物の名を漢字で答えなさい。
2. その書物は、おもにどのような内容を集めた書物か。最も適切なものを次から選びなさい。

- ア 戦国時代の遊説家（説客）の言論・策略を国別に集めた書物

- イ 孔子とその弟子の言行を記録した書物
- ウ 自然や四季を詠んだ詩を集めた詩集
- エ 古代中国の地理や産物を記した地理書